

ワークショップ 降雪に関するレーダーと数値モデルによる研究 in長岡（第16回）

～ 雪崩につながる不安定積雪を作る降雪 ～

開催日時 2017年11月21日 13:00～17:30

11月22日 9:10～12:30

場所 国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター

Session I : 雪崩につながる降雪の実態

「那須岳で発生した表層雪崩の現地調査結果」 中村一樹（防災科研）

「2017年3月27日の那須雪崩をもたらした低気圧の予測可能性」 吉田聡（京大防災研）

「低気圧に伴う那須大雪時の表層雪崩発生に関わる降雪特性」 荒木健太郎（気象研究所）

「弱層を形成する降雪粒子とダブルブライトバンドの関係」 藤吉康志（北大名誉教授）

「北陸地方における走査型Ka帯偏波レーダを用いた降雪雲の観測と粒子判別への適用可能性」 篠田太郎（名大宇宙地球環境研究所）

「MPレーダー解析による2017年3月26-27日那須近辺における降水と風の分布」 中井専人

Session II : 新しい技術と展望

「新雪の特性を推定するための降雪粒子観測」 本吉弘岐（防災科研）

「降雪粒子の立体形状と落下速度計測」 民田晴也（名大宇宙地球環境研究所）

「雲・降水モデルを用いた降雪系弱層形成に関する新たなアプローチ」 橋本明弘（気象研究所）

「Kaバンド偏波レーダーで観測した降雪システムの微細構造」 出世ゆかり（防災科研）

お問い合わせ

国立研究開発法人防災科学技術研究所雪氷防災研究センター

〒940-0821 新潟県長岡市栖吉町前山186-16

TEL 0258(35)7520

FAX 0258(35)0020

